第4回(R6.9.26)追加資料2

室戸市の不登校等の現状

室戸市教育研究所
手島　泰

長期欠席児童生徒調査（3日調べ）

長期欠席傾向にある児童生徒についての状況を月ごとに集計する
- ・考えられる原因
- ・対応の現状、進捗状況　等

⬇

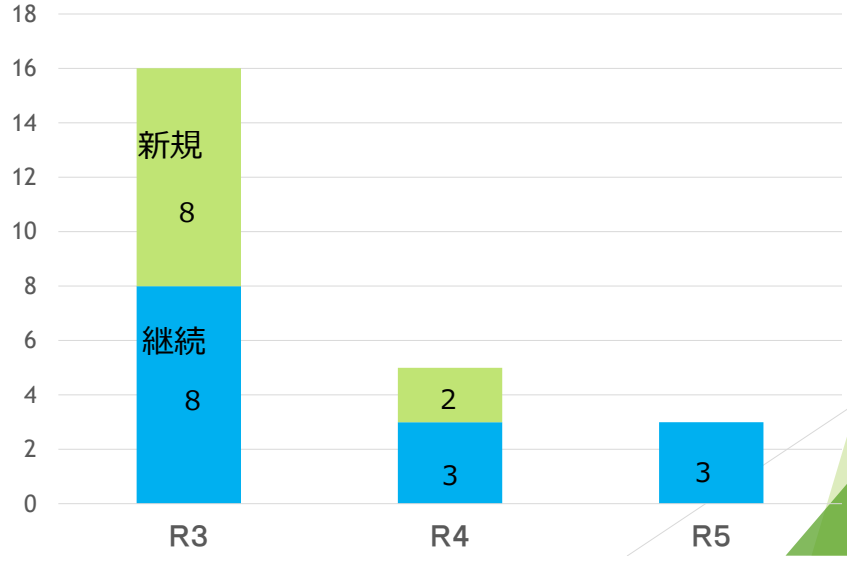
〇校内での組織的対応を図る
〇関係機関と情報を共有する

不登校児童生徒の定義
（文部科学省）

何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくともできない状況にあるために年間30日以上欠席した者

＊病気や経済的理由による者を除く

室戸市年度別不登校者（小学校）

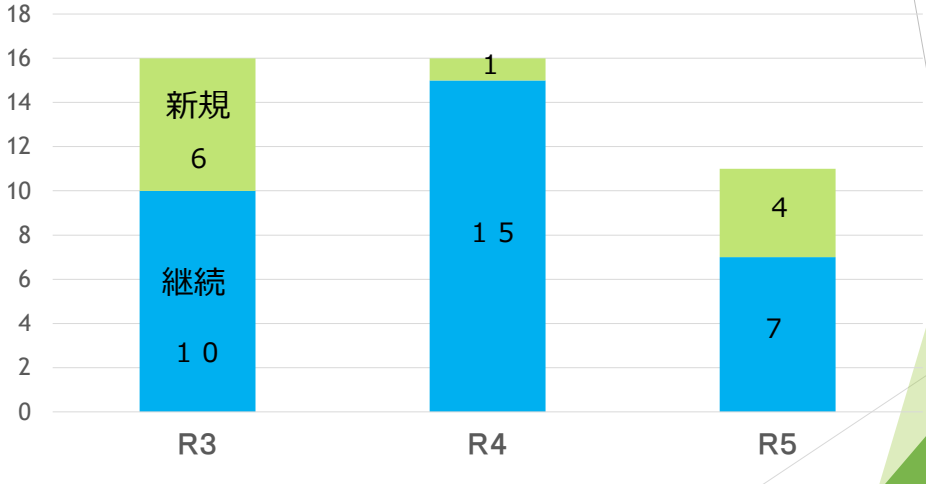


令和５年度の状況（小学校）

○期間限定（１学期）で、新規不登校傾向の児童が出現
→早期対応で長期化せず、改善へ

○継続して不登校傾向の児童は
・本人の特性
・生活習慣の乱れ
等で長期化している

室戸市年度別不登校者（中学校）



令和5年度の状況（中学校）

〇早期支援を行うが、いくつかの要因
・人間関係
・本人の特性
・集団生活への不適応
等が絡み合っている事例が多く、
早期改善が難しい。

今後の対応

〇不登校児童生徒への継続的・組織的支援

〇関係機関との連携

〇新たな不登校を生まない
「魅力的な学校づくり」